



【ヒイラギと節分】

ヒイラギ モクセイ科 モクセイ属
 原産地 日本、台湾
 開花期 10～12月
 花 白色
 別名 鬼の目突き 柎 柎木



戸口に挿した
 ひいらぎ いわし
 柎 鰯

鋭い葉と丈夫な幹を持つ常緑樹で、節分など誰もが知る行事で重要な意味を持つ植物です。柎は古くから邪気を祓う木として世界各地で親しまれています。日本では2月3日の節分の日に、一部の地域では玄関先に「柎（ひいらぎいわし）」を飾る風習があります。

これは家の玄関先に飾る、葉のついた柎の枝に焼いた鰯の頭を刺したもので、柎の葉のトゲが鬼の目を突き刺し鬼の嫌いな鰯の匂いで、邪気の象徴である鬼が家の中に侵入してくるのを防ぐと信じられていたためです。柎鰯を飾る意味はズバリ「魔除け・厄除け」です。

古来日本では「とがったもの」や「臭いもの（臭いの強いもの）」は厄除けの効果があるとされ、古くは平安時代から厄除けとして使われていたという記録があるほどです。正反対の説ですが「鬼の好物の鰯で、鬼を玄関へおびき寄せて柎の葉で鬼を退治する」という話もあるそうです。

「柎鰯（ひいらぎいわし）」と呼ぶのが一般的ですが、地域によっては「焼嗅（やいかかし）、やっかがし、やいくさし、やっさし）柎刺し（ひいらぎさし）」などと呼ばれることもあります。柎鰯の他には、大豆の枝やトベラという常緑小低木の枝を飾る地域もあるようです

柎の葉にはトゲがあるのが特徴です。そこからヒリヒリと痛むことを指す古い言葉「疼（ひいらぐ）」の名がつけられたのも納得です。4～10m ほどに成長する常緑性の樹木で、日本や台湾の山地に自生しています。葉は肉厚で光沢があり、縁にトゲのようなギザギザがあります。若い木は特にトゲがギザギザしていますが、年を経るごとにトゲが減りマルくなるのも特徴です。「柎」という漢字は「木」に「冬」と書きますが、寒くなって冬の訪れとともに花が咲くことから「柎」という名前が付けられたという説もあります。

花についてはあまり知られていないかもしれませんが、11月～12月の寒い時期に葉の脇からふさふさとした白い花を咲かせ、その花はキンモクセイのような華やかな芳香でも知られています。

花冠は4裂して径約5mm、雌雄異株で雄株の花は雄しべ2本が大きくて雌しべの発達が悪く、雌株花は花柱が長く発達して結実します。核果は楕円形、翌年の7月ごろ紫黒色になり、鳥に食べられ運ばれます。（文・写真 村尾 廣子相談員）



節分には鬼、豆、柎

雄株の花

雌株は両生花

柎の実

2月の花とみどりの講習会

【押し花でミニ額飾り作り】

日時：2月17日（土）10時～12時

場所：花とみどりの相談所

内容：ミニ額に小花を使った押し花を飾ります

講師：豊中緑化リーダー会

費用：900円

定員：24人

申込：2月10日（土）9：15～ 電話可



写真はイメージです

【クリスマスローズの育て方と苗の植え付け】

日時：2月24日（土）10時～12時

場所：花とみどりの相談所

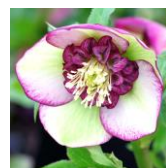
内容：苗の植え付けをして、管理栽培方法を学びます

講師：坂本賀津子さん（尼崎市都市緑化植物園相談員）

費用：800円

定員：24人

申込：2月17日（土）9：15～ 電話可



講習会の様子

みどりのつどい “公園の花壇を作っちゃおう!”

日時：2月17日（土）10：00～12：00

集合場所：ふれあい緑地 1 街区ビジターセンター

実施場所：ふれあい緑地 SEED

特典：参加者に“とよっぴー”（土壌改良剤）プレゼント

その他：お花の植付け方説明・お花の楽しみ方紹介 ほか
参加無料 先着 30 名 受付開始 2 月 2 日（金）から

申込み/問合せ：環境部 公園みどり推進課

Tel 06-6843-4141 Fax 06-6845-5813



花とみどりの相談

相談時間は、**火曜日・木曜日**の午後1時から4時30分までです。
電話による相談も行っています。

《2月の休所日》 毎週の日曜・月曜日と13日(火)23日(金)です。

豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曽根南町1丁目4番1号（豊島公園内） 阪急宝塚線 曽根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439 FAX 06-6863-3638